

「幕末ガール～ドクトル★お伊ネ物語～」 運命・人生の 荒波を越えていけ!!

7/28(土)、坊っちゃん劇場で公演中の「幕末ガール～ドクトル★お伊ネ物語～」の
作・作詞・演出を担当された横内謙介さんを迎え、
作品に込めた想い、自分らしい生き方、女性の自立についてお話を伺いました。
また、オープニングでは「幕末ガール」出演者の神 敏将さん・四宮 貴久さんも登場!!
「幕末ガール」という作品への熱い想いを語っていただきました!!
なお、当日は80名(女性62名・男性18名)の方が参加されました。

講師

横内 謙介 さん



◆プロフィール◆

劇作家・演出家・扉座主宰 日本劇作家協会副会長
1961年生まれ 東京都出身
高校在学中に演劇と出会い、処女作『山椒魚だぞ!』で
演劇コンクール優秀賞を受賞。'82年、扉座の前身
「善人会議」を旗揚げ。以後オリジナル作品を発表し続けて
いる。活動は劇団だけにとどまらず、トニセン<V6>の
舞台や、スーパー歌舞伎等、外部に幅広く作品を提供。
また、国民文化祭ふくおかオープニングフェスティバル
『人生号』構成・演出、愛・地球博『地球タイヘン大講演会』
脚本・演出、NHKBS2『深夜劇場へようこそ』司会、
'06年フジテレビ系ドラマ『ダンドリ。』脚本等、演劇以外
にも活動の場を広げている。'92年岸田國土戯曲賞受賞。
'99年大谷賞を史上最年少で受賞。



幕末を熱く生きたのは、男たちだけではなかった。

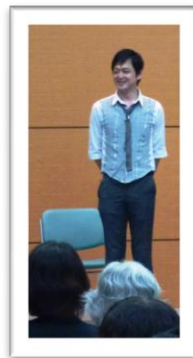
：

「人はいかにして夢を持ち、誇り高く生きぬくか」

パワーあふれる先駆者たちの人間絵巻。

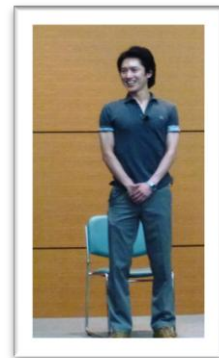
(「幕末ガール」チラシより抜粋)

オープニングには「幕末ガール」出演者の登場も！！



村田蔵六・海野太一郎 役

神 敏将 さん



定之助 役

四宮 貴久 さん



「幕末ガール」にまつわるお話、作品に対する想いを、それぞれの立場から熱く語っていただきました。参加者の方からは、「“幕末ガール”必ず、観に行きます！！」（60代以上・男性、ほか多数）という声が聞かれました。

横内さんが演劇の世界へ入られたきっかけ、演劇の魅力、そして「坊っちゃん劇場」が愛媛の子どもたちに果たす役割についてもお話いただきました。また、今回の「幕末ガール」という作品に込めた想い、「イネ」という一人の女性を通して、女性の自立について語っていただきました。参加された方からは「今後の演劇の在り方について考えさせられました」（50代・女性）という声も聞かれました。



★アンケートより★

- ★今回の公開講座に参加しようと思った理由として「講師の横内謙介さんに興味・関心があった」（55.6%）、「坊っちゃん劇場で“幕末ガール”を観て興味・関心があった」（38.1%）をあげられた方が多く見受けられました。
- ★「時代とともに女性の生き方も変化していることがよく分かった」（50.8%）という感想を持たれた方が多かったようです。



★アンケートの自由記述からは、以下のようなご意見が寄せられました★

- ★「女性と若者の社会進出がこれからの日本を変えていくと思っている。」（60代以上・男性）
- ★「松山は文化面のイベントが乏しくて残念に思っています。今後もいろいろな企画、イベントをして欲しい。」（60代以上・女性）
- ★「特に20代の女性の生き方を考えるテーマを企画して欲しい。」（60代以上・男性）